

## 1 平成 22 年度に求められる取組

### (1) 年間指導計画の作成

- ① 各校の特色や地域の特性、生徒の実態を踏まえながら年間指導計画を作成する。
- ② 3年間を見通し、各分野の特質や相互の関連を図った指導計画の作成に努める。

### (2) 単元や教材の開発

- ① 動態地誌的な学習による「日本の諸地域」に関する教材の開発を行う。【地理的分野】
- ② 学習内容の焦点化を踏まえ「導入・時代の転換・まとめ」を重視した単元構成の工夫をする。【歴史的分野】
- ③ 「現代社会をとらえる見方や考え方」を生かした教材の開発を行う。【公民的分野】

### (3) 配慮すべきこと

- ① 平成 23 年度入学生に対応した指導計画の立案に努める。
- ② 身近な地域の調査を工夫するとともに、小学校社会科の内容との接続に留意する。

## 2 教育課程編成上、参考となる取組例

### (1) 「日本の諸地域」における地域の区分、考察の仕方、課題例

- ① 北海道地方（イ）…北海道地方の開発は、どのように進められてきたのか。
- ② 東北地方（カ）…東北地方では、伝統的な産業や行事がどのように大切にされているのか。
- ③ 関東地方（オ）…都心部を中心とする過密化と山間部の過疎化はなぜ起きるのか。
- ④ 中部地方（ウ）…全国的にみて、各産業に占める中部地方の割合はなぜ高いのか。
- ⑤ 近畿地方（エ）…琵琶湖の環境保全の取組が生活や産業にどのようにかかわっているのか。
- ⑥ 中国・四国地方（キ）…交通の発達にともなって地域がどのように変容したのか。
- ⑦ 九州地方（ア）…特色ある自然とどのようにかかわり合いながら生活しているのか。

### (2) 「各時代の特色をとらえる学習」の展開例

- ① 「はじめ（導入の学習）」→「前半（時代の転換に関する学習）」→「終わり（まとめの学習）」の3ステップをうまく織り込みながら構成する。
- ② 導入の学習では、学習の動機付けを行うとともに最後に解決すべき課題を設定する。
- ③ 時代の転換の学習では、政治の特色に注目させながら振り返る。その際、前時代と比較させることにも考慮する。
- ④ まとめ学習では、時代の特色を自分の言葉で表現できるようにする。

## 3 教育課程編成上の Q&A

Q1 動態地誌的な学習を展開させる上において留意するポイントは何か。

A1 取り上げた地域の「特色ある事象」と他の事象を関連付けながら考察する。その際、中核となるものから関連させていき、伝えたい内容をすべて指導するのではなく、ポイントを絞り学習内容を取捨選択することが大切である。

Q2 「効率と公正」について留意するポイントは何か。

A2 効率とは、社会の無駄を無くすということであり、切り捨てるというものではない。現代の社会的な事象に関する学習課題について思考を深める際、一つの概念的な枠組みとして活用するものである。すぐには解決できない課題であっても「効率と公正」の視点から考えることができるように指導することが大切である。